

熊本海保たより

【令和5年度前期活動ダイジェスト】

発行:公益財団法人 海上保安協会熊本県支部

編集:熊本海上保安部 TEL0964-52-3103

G7サミット等海上警備

令和5年度に開催された「G7広島サミット(主要七カ国首脳会議)」に巡視艇ひごかぜが、「G7宮崎農業大臣会合」に巡視艇くまかぜ、巡視艇なつかぜが、それぞれ現地に派遣され、海上警備に当たりました。

広島へ向け出航する巡視艇ひごかぜ



G7広島サミット海上警備実施
令和5年5月19日～令和5年5月21日
派遣船:巡視艇ひごかぜ

宮崎へ向け出航する巡視艇くまかぜ



G7宮崎農業大臣会合海上警備実施
令和5年4月22日～令和5年4月23日
派遣船:巡視艇くまかぜ、巡視艇なつかぜ



愛します!守ります!日本の海
海の事件・事故は 118番



海の日表彰



《国土交通大臣表彰》松山 榮 氏
海上安全指導員として、多年にわたる海難防止思想普及・海上交通安全確保への貢献に対して、令和5年7月24日の海の日式典で、第十管区海上保安本部長から表彰伝達されました。(写真中央)

《海上保安庁長官表彰》井手 雅夫 氏
海上保安協会幹事として、多年にわたる海上保安思想普及・海上保安業務発展への尽力に対して、令和5年7月24日の海の日式典で、第十管区海上保安本部長から表彰伝達されました。(写真右)



《海上保安庁長官表彰》守田 憲史 氏
海上保安協会支部長として、多年にわたる海上保安思想普及・海上保安業務発展への尽力に対して、令和5年7月21日に熊本海上保安部長から表彰伝達されました。



《第十管区海上保安本部長表彰》深川 英穂 氏
海上保安協会幹事として、多年にわたる海上保安思想普及・海上保安業務発展への尽力に対して、令和5年7月22日の海の日式典で、熊本海上保安部長から表彰伝達されました。



《熊本海上保安部長表彰》

松本 祐輔 氏 中村 誠吾 氏 岩崎 博志 氏

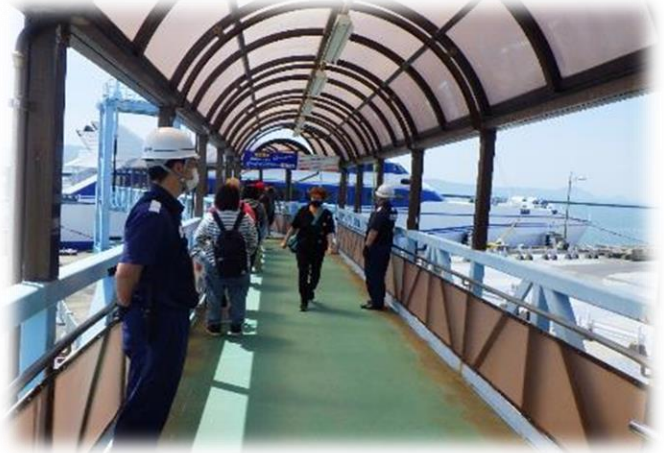
海上安全指導員として、多年にわたる海難防止思想普及・海上交通安全確保への貢献に対して、令和5年7月22日の海の日式典で表彰されました。
なお、(公財)海上保安協会熊本県支部から副賞を贈呈しています。

海上保安業務



海上保安協力員連絡会議

令和5年2月16日、令和元年度以来となる海上保安協力員連絡会議を開催し、各部署の現状説明や意見交換を行い、一層の連携強化を図りました



フェリーターミナル警戒(熊本港)

令和5年5月2日のGW期間中に、帰省客や旅行者が多くなることから、旅客船や発着施設における不審事象及び犯罪行為を未然に防止するため、フェリーターミナル警戒を実施しました



三角港港湾危機管理コアメンバー会合

令和5年6月28日、三角港港湾危機管理コアメンバー会合を実施し、各機関における水際対策等の取組状況について情報交換を行いました



フェリーターミナル警戒(鬼池港)

令和5年8月5日の夏季期間中に、帰省客や旅行者が多くなることから、旅客船や発着施設における不審事象及び犯罪行為を未然に防止するため、フェリーターミナル警戒を実施しました

環境保全推進活動



若宮海水浴場の海浜清掃

令和5年6月10日に、三角小学校児童と保護者及び宇城市商工会と合同で、若宮海水浴場の海浜清掃と漂着ごみ分類調査を約4年ぶりに行いました



環境教室紙芝居(天草)

令和5年6月16日に、愛隣幼稚園(天草牛深町)で園児9名に対して、紙芝居「うみがめマリンの大冒険」の読み聞かせを行いました

安全推進活動



海難防止講習会(八代)

令和5年4月21日に開催された、熊本県小型船舶安全協会の総会に併せ、海難防止講習会を実施しました



「海と日本プロジェクト」取材対応

令和5年6月19日に熊本朝日放送から取材依頼があり、ライフジャケットの正しい着用方法や点検ポイント等の説明を行いました



春季大型連休安全推進活動

令和5年4月27日～5月7日の間、マリナー及び釣具店、プレジャーボートや釣り人に対し、安全運航の呼掛け、安全指導を実施しました



天草SUPフェスタ2023

令和5年6月24日に開催された「天草SUPフェスタ2023」において、マリンレジャー中の事故防止を呼び掛けるとともに、安全教室を実施しました



海の事故ゼロキャンペーン

令和5年7月16日～7月31日の期間において実施される「海の事故ゼロキャンペーン」に先立ち、7月15日に4機関(熊本県漁連、海難救助隊、海上安全指導員、当部)で合同パトロールを行うとともに、県内各所において期間中に、海難防止及び安全啓発活動を実施しました

各種イベント

令和5年5月28日みなまた港フェスティバル2023、7月17日熊本港フェスティバル、7月22日みすみ港祭りが開催されました。

全ての日が好天に恵まれ、特に7月の両イベントは猛暑であったため、熱中症に注意しながらの対応となりました。

あそぎり体験航海
(みなまた港)



はい敬礼！(みなまた港)



海底地形図鑑賞
(三角港)



ひごかぜ体験航海(熊本港)



制服試着コーナー(三角港)



テレビ局取材状況(熊本港)





灯台の歴史



航路標識は、船舶が自船や障害物などを確認する際に指標となる施設で、岬の先端に立つ灯台、岩礁などの障害物の存在を知らせる灯標、航路の入り口を示す灯浮標などの種類があり、船舶交通の安全を確保するための重要な役割を果たしています。当部の管内には、日本全国の部署で3位の基数となる147基の航路標識が設置されており、その維持管理も当部の重要な業務のひとつです。現在の航路標識の殆どは、電源に太陽電池、光源にLEDを使用しており、高機能化、省力化が進んでおりますが、歴史的、文化的価値は高く、自然にマッチした美しい景観も隠れた魅力なので、今回、その歴史を紹介致します。

(1) 明治以前の灯台

日本燈台史によると、承和6年(839年)遣唐大使が帰国する際、船団が離散し9隻のうち1隻しか帰国しなかったため、当時の朝廷が後続船の目標となるよう炬火(かがりび)を絶やさぬように命じたことが灯台の始まりとされています。江戸時代になると、江戸や上方の消費地に物資を輸送するため、西廻海運、東廻海運など大規模な航路が開けましたが、この航路に沿って各地に灯明台(石造りの小塔台で、油紙をはった障子で囲い、中で油を燃やして“火”をともしたもの)が造られるようになりました。



(2) 明治以降の灯台 ～西洋技術の導入～

日本における西洋技術を用いた灯台の建設は、1866年(慶応2年)にイギリス、フランス、オランダ、アメリカの4カ国と締結した改税約書(江戸条約)に基づいて要請されたことが始まりでした。当時の江戸幕府には、灯台を建設する技術がなかったため、フランス、イギリスの技術者に建設場所の選定、灯台の設計などを依頼していました。その後、明治新政府が受け継ぎ、1868年(明治元年)11月1日に観音埼灯台(神奈川県横須賀市)の建設が始まり、明治時代に約120基の灯台が全国各地に建設されました。

明治期の灯台は、文化の象徴、技術の先駆けで、灯台の設計、レンズ、灯器など積極的に西洋技術を導入し、一方で建設資材などは日本の実情に合わせて工夫を凝らしており、見事に西洋と日本の技術を融合させていました。現在でも約半数にあたる64基の灯台(灯標等含む)が、現役で每晚欠かさずに灯りを放っていることから、その技術が如何に優れていたかを証明しています。

大正から昭和にかけても航路標識の整備は進みましたが、太平洋戦争下では空襲の標的とされ、140基の航路標識が甚大な被害を受けました。昭和23年、海上における治安の維持と航行の安全確保を一元的に担う機関として「海上保安庁」が創設されましたが、航路標識の設置、管理も当庁の業務となり、被害を受けた航路標識の復旧を加速させました。現在は、全国に5,100基余りの航路標識が整備されています。

(3) 熊本海上保安部が管理する明治期灯台

当部の管内には、小型ですが明治期の灯台、灯標が5基設置されています。全国の部署で最多タイとなる基数で、現在も、当時と変わらぬ姿で熊本の海の見守っています。



戸島灯台(石造)
明治30年建設
戸島(天草市)の東側に設置しており、長島海峡を航行する船舶の指標となっています



戸馳島灯台(石造)
明治31年建設
戸馳島(宇城市)の南側に設置しており、蔵々ノ瀬戸を航行する船舶の指標となっています



寺島灯台(石造)
明治31年建設
寺島(宇城市)の東側に設置しており、三角港を航行する船舶の指標となっています



五通礁灯標(コンクリート)
明治37年建設
早崎瀬戸(五和町鬼池沖)の岩礁上に設置しており、標識の北側が安全であることを示しています

上の島灯台(石造)
明治30年建設
上の島(天草市)に設置しており、八幡瀬戸を航行する船舶の指標となっています

みつばちラジオ出演



熊本で4局目のコミュニティ放送局『みつばちラジオ』の毎週火曜日13時30分～約10分間の放送枠(生放送)に、当部のPR、取組みやイベント等の紹介、お知らせなどを毎月1回放送していただけることになりました。

この放送枠は、「シトラスネットワーク」というタイトルで、各自治体、警察、消防などが、地域のネットワークを広げて情報発信していくコーナーで、今年度から初めて【熊本海上保安部】が参画しているものです。

4月放送からすでに、当庁の業務紹介、学生募集案内、海洋環境保全や海難防止活動等の情報を発信しており、これからも毎月、旬な情報を継続して発信していくこととしていますので、機会があればリスナーになっていただければ幸甚に存じます。

～みつばちラジオ～

周波数88.8MHZで放送していることの「みつつ8」が名前の由来
八代市、天草市、宇城市などの6市4町が放送区域となっている。

海上 保安官 募集

愛します! 守ります! 日本の海

海上保安庁
採用